

# コンピュータ I

## 第4回目

---

Marie Ogawa

情報教育



# 本時の授業の流れ

---

1. ゲーム依存について（Eスポーツとの関連性）
2. 炎上（教科書168,169）
3. 第4回目の課題について
4. まとめ

# NHK クローズアップ現代

---

2020年5月20日放送

外出自粛の陰で...ゲーム依存は大丈夫？

# 炎上

---

教科書P168,169

# 炎上とは

「(比喩的に)インターネット上のブログなどでの失言に対し、非難や中傷の投稿が多数届くこと。また、非難が集中してそのサイトが閉鎖に追い込まれること。祭り。フレーム。フレーミング。」

デジタル大辞泉(小学館, 2009)

# 炎上の現状

---

“ネット炎上“ 追跡500日 | NHK NEWS WEB

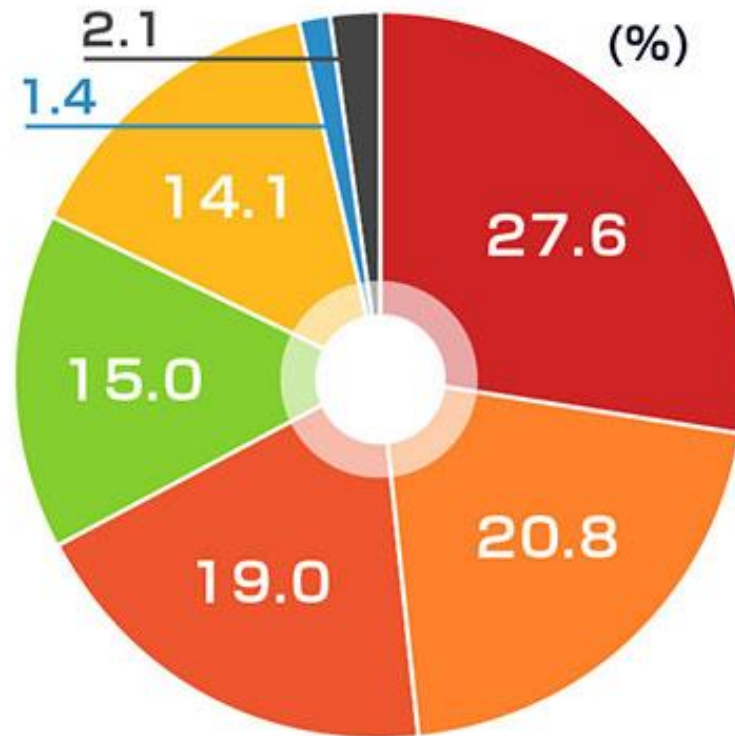
[HTTPS://WWW.NHK-ONDEMAND.JP/GOODS/G2019099169SA000/](https://www.nhk-ondemand.jp/goods/g2019099169sa000/) (2020/05/24閲覧)

# 500日間の炎上事例、1130件抽出 きっかけとなった投稿や炎上が広がったメディア

対象	件数
Twitter	1013
ネットメディア(まとめサイト含む)	440
ブログ・掲示板	92
Youtube	52
Facebook	47
Instagram	31

“ネット炎上” 追跡500日 | NHK NEWS WEB <https://www.nhk-ondemand.jp/goods/G2019099169SA000/>

### 【大炎上の当事者は（1000RT以上）】

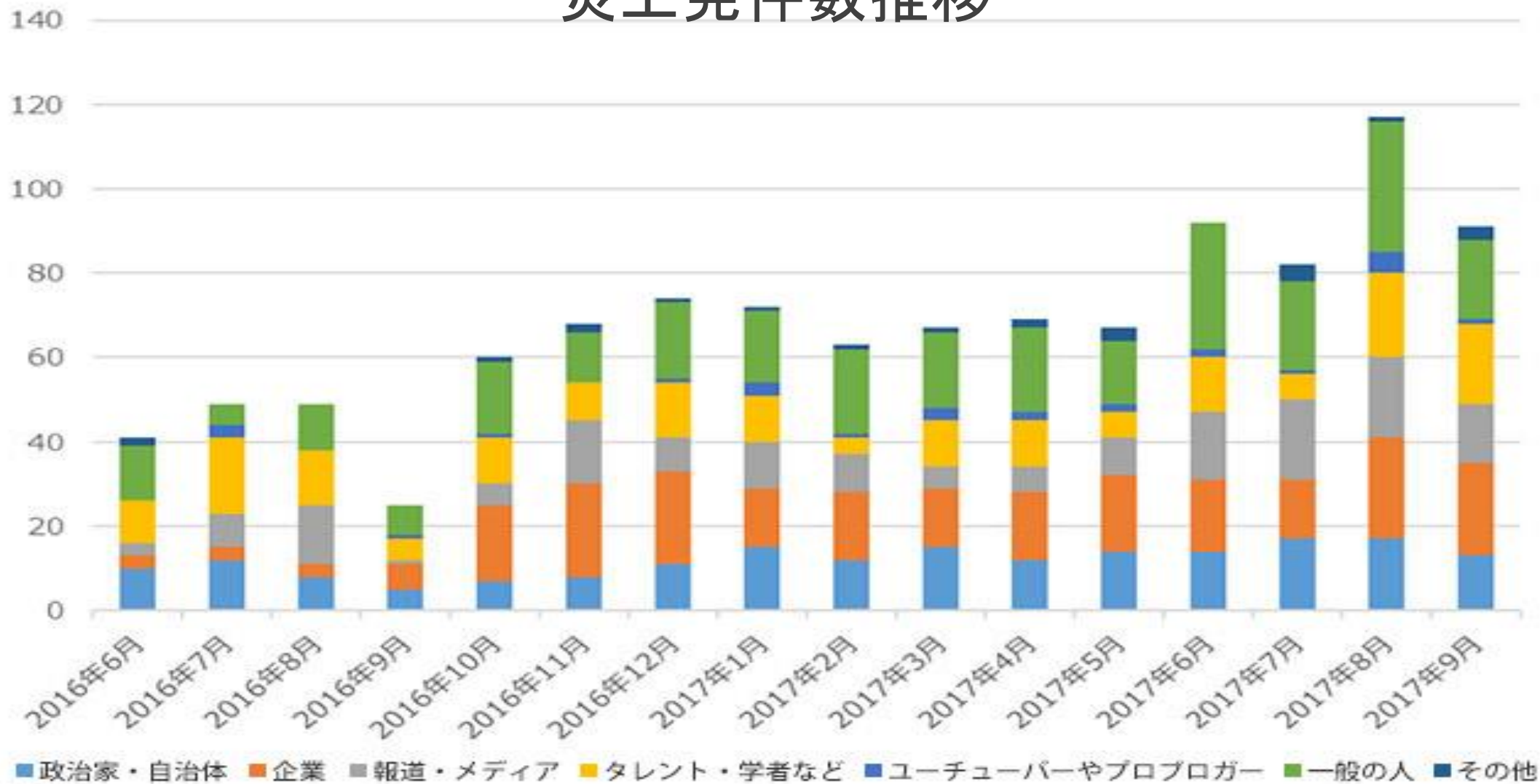


- 一般の人
- 政治家・自治体
- 企業・営利団体
- 報道・メディア
- タレント・学者など
- ユーチューバーやプロブロガー
- その他

“ネット炎上” 追跡500日 | NHK NEWS WEB <https://www.nhk-ondemand.jp/goods/G2019099169SA000/>



# 炎上発件数推移



“ネット炎上” 追跡500日 | NHK NEWS WEB <https://www.nhk-ondemand.jp/goods/G2019099169SA000/>

## 国内における炎上発生件数推移



(出典)山口真一(2018)『炎上とクチコミの経済学』

# 炎上の背景

---

“ネット炎上“ 追跡500日 | NHK NEWS WEB

[HTTPS://WWW.NHK-ONDEMAND.JP/GOODS/G2019099169SA000/](https://www.nhk-ondemand.jp/goods/g2019099169sa000/) (2020/05/24閲覧)

# 炎上の背景

---

1. 悪ふざけ・炎上狙い
2. “過度”な商業表現
3. 国籍や性別などの差別やヘイト
4. メディアの報道姿勢・誤報
5. デマ・事実誤認・なりすまし

# 1. 悪ふざけ・炎上狙い

---

- 一般の人が当事者になるケースが多い
- 「悪ふざけ」などの行為をSNSに投稿して、そのまま炎上
- 別名「バカッター」

# 事例

---

- ホテルでアルバイト男子高校生が食器洗い機で入浴
- はま寿司のアルバイト店員がハサミの天ぷらを投稿
- ニコニコ生動画の投稿者がスターボックスに爆竹
- 女性が冷蔵庫に入る
- 餃子の王将で全裸による食事



・Naverまとめ “バイトテロ”の画像・ニュースと結末・その後(<https://matome.naver.jp/odai/2137897707489214001>)

## 2. “過度”なコマーシャル表現

---

- 主な炎上の当事者は企業
- 製品の不具合
- 運営や広報のあり方
- CMやコマーシャルの表現

# 国籍や性別などの差別やヘイト

---

- **国籍**や**性別**などに対する**差別的**な発言に対するバッシング
- ヘイトスピーチ (Hate Speech)のような状態に



特定のもの(人や思想)に対する、  
一方的な嫌悪や差別的な発言



# ヘイトスピーチとは

---

1. 特定の**民族**や**国籍**の人々を、合理的な理由なく、一律に**排除・排斥**することをあおり立てるもの  
(「〇〇人は出て行け」、「祖国へ帰れ」など)
2. 特定の**民族**や**国籍**に属する人々に対して危害を加えるとするもの  
(「〇〇人は殺せ」「〇〇人は海に投げ込め」など)
3. 特定の**国**や**地域**の出身である人を、著しく見下すような内容のもの  
(特定の国の出身者を、差別的な意味合いで昆虫や動物に例えるものなど)

法務省 ヘイトスピーチに焦点を当てた啓蒙活動 [http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken04\\_00108.html](http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken04_00108.html)  
(2020/05/24)

# メディアの報道姿勢・誤報

---

- テレビや新聞などのマスコミの報道に対して
- 報道や取材の在り方
- 誤報に対して

# 事例

---

- 3月の竹下通りの様子を、現在のものとして報道
- イッテQ祭り企画
- 消えた天才
- 取材の在り方

# デマ・事実誤認・なりすまし

---

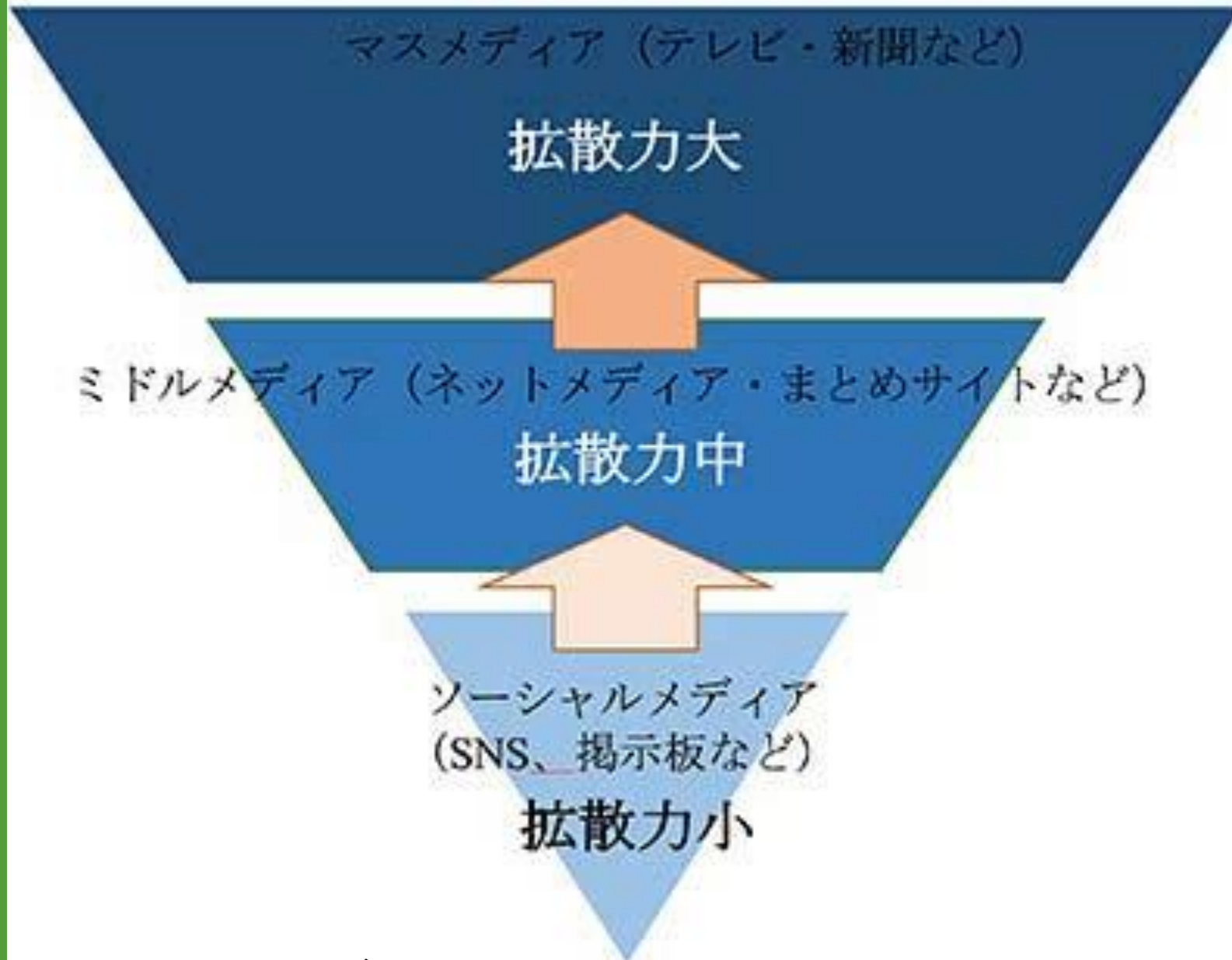
- 正確でない情報やデマが拡散
- 別の人になりすまして、虚偽の投稿を繰り返す事例

# NHKスペシャル 「デジタルVSリアル」 フェイクに奪われる“私”

---

4月5日(日)午後9:00~9:49(総合テレビ)

# 炎上から激化まで



NHK News Webが  
法政大学の藤代裕之准教授のネット炎上に関する研究を参考にして作成

# 炎上認知経路

---

炎上認知経路として最も多いのは  
テレビのバラエティ番組(60%程度)  
Twitterからの認知(23%程度)

吉野ヒロ子. (2016). 国内における「炎上」現象の展開と現状: 意識調査結果を中心に. 広報研究= Corporate communication studies, (20), 66-83.

# 激化が進むと

---

教科書168.169



# ネットの世界だけではすまない

---

- 個人情報の特定
- 自宅や勤め先、親族や友人にまで被害が及ぶ
- 会社や店舗の倒産
- 解雇や退学
- 精神を病んで、自殺することも。

# テラスハウス出演の木村花さん自殺

---

- 「コスチューム事件」後、木村華さんのSNSは炎上の嵐
- 見た目や人格に対しての悪口
- 訃報を受けて、それらアンチと呼ばれる投稿者にも批判が向き、アカウントが次々と削除される事態に

# 表現の自由としてのSNS

---

- SNSは**匿名性**
- 皆さんには、「**表現の自由**」が保障されている
- 「+」に出来ないならば、「**使わない**」という選択肢

## 炎上の予防

---

書き込むものにも、  
細心の注意を

- ✓ ネタだと思って、面白半分のものではないか
- ✓ 犯罪半分、悪戯半分のものではないか
- ✓ 誹謗中傷、他人を傷つけるものではないか
- ✓ 負の内容ではないか
- ✓ 誰に、どう使われても構わない内容かどうか

# それでも炎上してしまったら

---

- 誠意のある**謝罪**のコメントを
- 対応しようとして、悪化することもある



# それでも収まらなかったら

---

- 周りの人に相談する
- 1人で抱え込まないことが大切



# 誹謗中傷する人の割合

---

炎上すると、まるで全員が自分の敵のように感じます。

- 過去1年間に炎上事件に書き込んだことのある人は、0.5%
- 一人の人がすべての炎上事件に書き込むわけではないので、1つの炎上事件について書き込む人の人数は、この0.5%の人の数十分の1となり、0.00X程度。

田中辰雄・浜屋敏(2019)



# まとめ

---

- 一度炎上してしまったものは消えない
- 炎上には、大きく分けて2つのパターンがある
  - 自分にきっかけがある場合
  - 自分には、何も非がない場合
- 書き込むときは、細心の注意を払う

# 先行文献

---

- パーフェクトガイド情報 Office 2016 実教出版
- デジタル大辞泉(小学館, 2009)
- “ネット炎上” 追跡500日 | NHK NEWS WEB  
<https://www.nhk-ondemand.jp/goods/G2019099169SA000/> (2020/05/24閲覧)
- 山口真一(2018)『炎上とクチコミの経済学』
- Naverまとめ “バイトテロ”の画像・ニュースと結末・その後  
(<https://matome.naver.jp/odai/2137897707489214001>)
- 法務省 ヘイトスピーチに焦点を当てた啓蒙活動 [http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken04\\_00108.html](http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken04_00108.html)  
(2020/05/24)
- NHK News Web作成 法政大学の藤代裕之准教授 ネット炎上に関する研究
- 吉野ヒロ子. (2016). 国内における「炎上」現象の展開と現状: 意識調査結果を中心に. 広報研究= Corporate communication studies, (20), 66-83.
- 田中辰雄・浜屋敏(2019) 「ネットは社会を分断しない」角川新書